

# 光市医師会報

平成9年3月号

No. 293



暮陽の社

光市医師会

〈特別寄稿〉

## 院長就任挨拶

光市立病院院長 濃川正信

平成9年より、板垣前院長の後任としてご指名を頂き、大変なお役を承りまして、その責任の重さと大きさを身にひしひしと感じています。

私は昭和42年に山口大学を卒業し、昭和53年に当病院に赴任してきました。以来19年間、本庶先生や板垣先生のご指導のもとに、多くの先生方や職員の皆様と共に働いてきました。以前は本院も巨大な赤字を抱え、倒産しそうな時期もありましたが、職員の皆様が、汗水垂らして働きまして、今や山口県内においても数少ない、長期間の黒字病院とすることができ、1目おかれ、注目される病院となっています。本庶名誉院長や故板垣前院長の、病院経営の基盤確立に尽くされた功績は、偉大なものがあります。この残された貴重な遺産を基に、我々は光市立病院をますます発展させねばならないと思います。

さて、院長就任に当たり、一言抱負を申し上げます。病院の運営に3大指針を掲げたいと思います。1番目にチーム医療の徹底、2番目に医療の高度化、3番目に病床の高度利用であります。

我々を取り巻く医療環境は、ますますきびしくなり、医学・医療技術・薬学の進歩、老人人口の増加と高齢化の進展、医療ニーズの高度化・多様化等、医療費を増大する要因は数多くありますが、一方、社会経済は右肩上がりの高度成長は望むべくもなく、



バブル経済もはじけ、低成長化、固定化の現状があり、政府の医療費抑制政策はとどまるところを知りません。病院経営はますます困難になって行くと思いますが、より良質で適正な医療の提供と、健全な病院経営を両立すべく、この重責を担っていくには、力量不足でございますが、諸先生方を始め職員の皆様のご助力を仰ぎ、任務に邁進してゆく覚悟でございます。どうかよろしくお願い申し上げます。

以上、考えているところを述べまして、簡単ですが就任のあいさつといたします。

## ◆チーム医療に関して

チーム医療とは“医師を中心にさまざまな医療スタッフがそれぞれの専門的知識や技術を持ち寄って患者さんを治療する事”でしょうが、病院における医療はまさにその実践でありましょう。ひとりの患者さんを多くの医師、医療スタッフが診る事でもあり、まず(第1に)診療科間の紹介が多くなければなりません。医師はともすれば独善的になりやすく、専門分野に興味が集



中いたします。しかし病人はいろいろな方向から診る必要があります。また病院内でひとりの医師が多数の患者を抱えることは重大な病気の見落としにもつながりかねません。1部門で忙しく、残業が続くようでは医療事故の元となります。したがって(第2に)余裕があるところと、忙しい部門で医療スタッフの交流がなければチームワークが取れません。医師それぞれの仕事量も平均化すべく、医師数を変えることも考えられます。また自分の医療に自信を持つことは、いいと思いますが、患者さんの評判、医療スタッフの意見、他の医師の評価を聞く耳をもたねばなりません。(第3番目に)これに役に立つのが学会、研修会、勉強会、カンファレンス等への発表ないし参加であります。我々が体験した症例はできるだけ多くの人の経験としなければなりません。したがって病院内あるいは光市医師会の方々と症例検討会を開きたいと思えます。

#### ◆医療の高度化

医療の高度化とは、光市民の医療ニーズに合わせ、できるだけ多くの疾患を治療できるように人員と設備を充実していきたい事です。前院長からの懸案であるMRIは4月1日より使用開始いたします。導入が遅れましたがそのおかげで高速で高機能のシーメンス社製1テスラーを設置することができました。MRアンギオにより造影剤を使用する事なく脳動脈瘤が診断でき、門脈も造影できます。MRcpで膵管も出せます。

これから導入される医療器械は、高価であるが使用頻度が少ない不採算器械が多く

なると思われ、赤字要因となります。

来年度に予定しています、結石破碎装置は光市民に多いと言われております尿路結石症を手術せずに治すことができます。ただ高性能機は高価で採算は取れません。まだ導入したい医療器械は多数ありますが、その購入は非常に困難になっていくと思えます。

光市民の夢であると思えますが、脳外科開設に関しても数々の困難があります。まず第1に脳外科医を派遣していただけるかどうか、医師を招致いたしましても、そのための病床が必要となります。しかし政府の医療費抑制政策により、増床はほとんど不可能です。しかも脳外科手術後のリハビリに長期の入院を要することがあります。たとえ現在脳卒中を扱っている病棟を使用するにしてもすぐに満床になる恐れがあります。しかしぜひとも脳外科を開設したいと考えています。

また麻酔科医師が必要です。現在はパートの医師に頼っていますが、外科系の医師が安心して手術に専念できるようにしなければなりません。今後努力を要します。

#### ◆病床の高度利用

山口県の保健医療計画にもとづき周南医療圏の病床数は制限されていますし、現状はオーバーしています。また老健施設、特養施設のベッド数もいっぱいのです。我々は病床増加に頼ることなく、病院を発展させなければなりません。これには病床の高度利用が必要です。ベットは貴重な財産です。できるだけ早くたくさんの人を入院させたい、医療を最も必要としている人たちを優先的に入院させねばなりません。

しかし入院は自分の家に帰るため（退院）の準備段階です。特にお年寄りが長く（3ヶ月以上）入院しますと帰るところがなくなってしまう。症状が固定し治療効果がなくなった時、一定の治療目的が達成された段階で退院させなければなりません。また安心して退院できるということは、症状が急に悪化したときには必ず入院できることです。各病棟に毎日2床は空きベットを用意しなければなりません。人が長寿命となるにしたがい完治しない病気、後遺症が残る疾患が増えてきます。これらの患者さんをいかに早く外来あるいは在宅

医療に移行できるか、社会的入院（6ヶ月以上）をなくすためにも医師の技量が問われる時代となりました。また胆石症の手術など、医療の進歩により入院期間が短くなった部門もあります。在院日数を短くするためには、退院後の在宅医療に力を入れるをえませんが、ぜひとも医師会の皆様には訪問診療に力を入れていただきたいと思います。以前の急病患者への往診という形態から、慢性疾患に対する訪問診療へと変化しています。当院でも光市の訪問看護ステーションの整備計画に協力したいと思っています。

### 濃川正信先生 光市立病院院長就任祝賀会

日 時：2月6日(木) 午後6時30分～

場 所：松屋ホテル

発起人：富恵哲・近藤龍一先生

1月1日付で、病院長に就任された濃川先生のお祝いを、多数の会員が出席して盛大におこなわれた。近藤先生の巧みな話術による司会進行で、富恵先生、河内山（清）

先生、竹中先生、福本先生、前田先生、赤崎先生が、それぞれユーモアを混ぜて、先生のひととなりをスピーチ披露された。







## 〈会員広場〉

## シンガポール旅行記

富 恵 哲

今年は七十才。ぼつぼつ身の整理をと亡くなった末弟の仕事の後始末にシンガポールの友人に会いに出掛ける。丁度、跳び休なので三泊四日の旅である。次弟と同伴。

福岡発、12時のシンガポール航空で出発。一応、JTBのツアー扱いとして福岡空港へ集合するものの、ツアーとは名のみで、私達兄弟と新婚さんらしき連中と二組だけ。各旅行会社が旅行者を集め、飛行機のシートを埋めるのであろうか？

跳び休なので空港待合室は人で溢れている。SQ（シンガポール航空）の飛行機は、ほぼ満席。定刻に離陸。午後5時、時差1時間で予定通りチャンギー空港へ到着。さすがに空港は大きい。動く歩道が幾つも連らなって居るがその割に人影はまばらである。

手続を終え、ゲートを出ると友人とガイドが迎えに来ているのでほっとする。暑い。



( 蘭 園 に て )

冬仕度の上着、カーデガンを脱ぎ、シャツの袖を捲りあげても汗だくである。

ガイドの車に乗ってホテルへ。

ザ、リージェント、ホテル。フロントでチェックインをして、明朝の市内観光の約束をしてガイドと別れる。

部屋に荷物を置き、早速外出。「夕食は現地の人と一緒に」と頼む。屋外にテーブルを持ち出したオープンのレストランに案内される。友人にメニューを任せて、うまいものにと注文をする。友人はシンガポールの元海軍中佐。日本の自衛隊に留学の経験があるものの、日本語を殆ど忘れ、英語とのチャンボンの会話である。

まず海老（えび）のおどり。シンガポールでは、他の東南アジアの国と違って生物はOKとの事。すしねた位の大きさの海老の入った硝子のポールへ紹興酒を流し込み、かきまぜて居る。海老は酒の中で跳びはねているが、その中、酔ばらったのか大人しくなった所、皮を剥いて食べる。手の中で



( 蘭園 蘭の一種 )

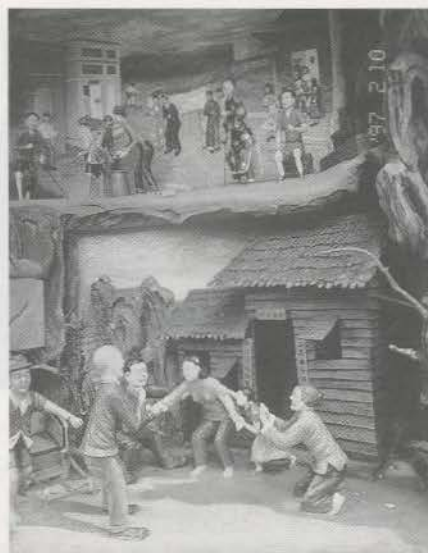




(タイガーバームガーデンの入口)

暴れる海老の皮を剥き、たれをつけて食べる。そのたれも、唐辛子みそ、葱の入った魚醤、香草の入った酢等々、色々なたれがテーブルの上に載っている。珍味。日本の“おどり”に比べて豪快な食べ方である。次に茹た海老。これ又、室積のとは異ってうまい。友人の説明では、海老はインドネシア、野菜はマレーシアとの事。狭いシンガポールでは栽培が出来ないとの話である。蟹、魚、貝等々、次々に出て来る。ビールのジョッキもお替り。ピッチャーに入れたビールを女の子がジョッキに注いでくれる。ピッチャー一杯が幾何とが。日本のビールよりやや色が薄く、ホップが少ない。二、三杯飲んで、次に紹興酒を飲む。これは色が濃い割に口当たりが良く、抵抗なく飲める。最後はパイナップルの入った炒飯。さすがに甘いので敬遠するが同席の子供達はおいしそうに食べている。

ホテルへ帰館。ホテルはシンガポールでは四星とか？。吹き抜けで、真中にエレベーターが数機あり、大きな柱の様でその中をエレベーターが上下して居り、円周に部屋が並んで居る。一階のフロアーには花が植えてあり、南国へ来た感を深くする。



(タイガーバームガーデンの人形)

二日目の朝、レストランでお粥を注文するが、ぬるめのお粥で期待外れ。

ツアーの行程の市内観光へ出掛ける。観光客十人余がバスに乗っているがすべて日本人である。

先ず蘭園へ。シンガポールの国花が蘭である事は有名である。栽培されてゐる蘭を見て歩く。色とりどりの蘭が咲き乱れてゐる。花辨にも色々な種類がある。併し、その割に香が少ないのは意外であった。蘭の花びらを金メッキした珍しいブローチが売られて居るので病院の職員へのお土産にと買って置く。蘭を満喫して外へでる。

ついでシンガポールの象徴マーライオンをマリンスクエアで観る。上体がライオン、下方が魚のマーライオン。シンガポールの象徴としての歴史をガイドが喋ってゐる。水を吐いて居るマーライオンの彼方に海が見えて居たが、新しい橋が出来て、景観も台なしである。昼飯はラッフルズホテルで摂る。プチケーキが色々と並んでいるが、



(ヒンズーの寺)

甘いものは苦手で敬遠する。ホテルから見渡す景色はすばらしい。昼食が終り、ツアーと別行動を取る事にしてホテルへ帰り友人と落合ふ。

友人の案内でタイガーバームガーデンへと出掛ける。万金膏で財をなした虎兄弟の経営に依るものと記るされている。香港のそれより大きい。遊園地があり、ショーを見せる演舞場がある。人形が色々な仕草をしている。若の花の角力の場面もある。その昔、普賢祭でやって居た因果応報の地獄絵図の人形が飾ってある。針地獄、火焰地獄等や、仏教の教えであろう。下が地獄、上が極楽の生活を人形で表し、その説明を漢字と英語で書いてある。老人が孫に説明してある風景を見て、何処も同じだなと微笑



(お寺の狛犬)

んだ次第。

それにしても暑い。30℃以上。ミネラルウォーターのボトルを買って飲み乍ら歩く始末である。

何処が行き度い所はと云うので、古い寺へ連れて行く様に頼んだ所、ヒンズー教のお寺へ案内してくれる。竹ひごの着いた長い線香を捧げて祈っている。仏像と反対側を拝んで居る人を見かけて「あれは何をして居る？」と問うた所、天の神を拝むとの返事。

皆、供物を捧げ、念仏らしきを稱えて、身を投げ出して祈っている。信心すると云う事は、此んなのであろう。日本のお寺の光景とは全く異なる。若い人達が沢山居たのも意外であった。只々感心。仏教の寺え案内



(お寺)





(屋台村のマーケット)

してくれる。大きな観音さんが境内に立ってある。拝殿に入ると金粉を塗った大仏さんが鎮座している。すべてがきやびらがで、日本の仏像と異っている。テラワータ仏教(小乗仏教)の故であろうか?。狛犬も正月の装いであろうか?赤い布を掛けている。高麗から渡来したので狛犬と云はれたものの、ルーツは此辺りにあるのかも知れない。顔の異った狛犬を眺める。

シンガポールの街を車で走り廻る。確かに綺麗でちり一つ落ちてみない。自分の身辺だけを美しくして、公衆のものは平気で汚す日本人の生活が恥しくなる。車も官庁街に入る日が決まっているとか?。入れない日はバスで行くと話して居た。車公害の対策を建ているのであろう。

二日目の夕食は日本のテレビに出たと云うチキンにする事として友人に話して置く。それはマーケットだと友人が云い、其処へ連れて行ってくれる。マーケットと云っても、コンクリートの三和土(たたき)の広い建物の中にテーブル、椅子が雑然と置かれ、隅に5~6軒の店が長屋の様に並んでいる。ヌードルの店、チキンの店、マントウの店、The Porridge(おかゆ?)と英語で看板の出ている店もある。親子4~5人

がテーブルを囲んで大きな皿を突いて居る。家で作ると高いので、皆、此の様な所で外食をするのだとか……。[毎日では厭きるだろう?]と笑った所「いや、毎日変ったものを食べる」との事。(食材、料理法の多さ故なのか?)がやがや喋り乍ら食べている様は壮観である。友人曰く、「吾が家も時々此んな所で食べます」との事である。矢張り、中流階級以上は家で夕食を楽しむものであろう。友人夫婦は共稼ぎなので子供を連れて親の所へ食べに行くと話して居た。阿媽(女中)さんが居るので彼女達を作ってくれるとか……。人件費が安いのであろう。阿媽さんは殆んどフィリッピンからの出稼ぎであると話して居たのも面白い。

友人がチキンのスープを持って来る。スープの中にとろけそうな鳥の皮が浮いて居り、一緒に葱、香草が入っている。うまい。ついで鳥肉の蒸したのを持って来る。テーブルの香辛料を好みに合せつけて食べる。種類の多い香辛料は何れも南国特有で辛い、然し、何とも云えずうまい。ちんげん菜様の炒めもの、茶碗についた御飯。廻りを見渡すと御飯の上に汁をかけて食べている。此方もそれを真似て食べて見る。パサパサの細長い米の御飯は、お汁をかけ



(おかゆ屋)



Mt. フィーバーで遙かセントーサをのぞく手前、ケーブルカー

で食べるのも一方である。香辛料をふんだんに使っているのではあろうか？。帰国して家へ入った途端、家内に「そばに寄らないで!!」と大声で怒鳴られた。にんにくの臭が強烈で部屋中が臭うとの事である。私自身、香辛料を付けてうまいと思って食べたが別に、“にんにく”を沢山食べたとは思わなかったが、すべての食物に“にんにく”が入って居たのであろう。最後に果物、みかんを食べる。オーストラリア産とか。夕食の一駒である。

三日目の朝はお粥をと云った所、友人がホテルへ迎えに来る。暑いので半袖で出る。車でマーケットを訪れ、Porridgeと看板を出している店の前に座っておかゆを注文。お粥の中に鳥肉が入って居り葱が浮いて居る。仄かに“にんにく”の香がする。うまい。ミートボールの入ったスープ。これ又うまい。絶妙な味である。葱、香草の入ったスープの中に魚肉の団子が浮いて居る。一寸かまぼこに似て非なるもので味は抜群。熱いお粥、熱いスープ、暑い国で汗を拭き乍ら食べると暑さもふっ飛んで力が湧いて来る様な気がする。お粥を満喫。

其の後セントーサ島を見物。クルーザーで出掛ける。ケーブル、橋、と三通りの方法があるとか……。十数分で島に着く。モノレールに乗って島を一周。有名な水族館に入り、珍しい魚を見て歩く。隣の博物館

に入り色々シンガポールの歴史を尋ねる。第2次世界大戦の記録を人形で現している。山下奉文のシンガポール占領の人形は、私の中学生時代の出来事を思い起させてくれる。モノレールの線路の側のゴルフコースも立派に整備されている。さすがに日中は暑いのでコースに人影は見当らない。その昔、暑い日中にゴルフをやり、日本人はクレージーだと云はれた事を思い出す。

セントーサ島の観光を終えて暫く友人宅で休憩。歩き廻ったのでさすがに疲れる。

夕飯が終り、友人の案内で将校クラブで軽く一杯。水割を飲み乍ら最後の夕を過す。メンバー制のクラブで、タイミング良く“北国の春”を中国語で歌ってくれる。私達の為に歌ってくれたのかと考えた。

後は空港へ出掛けて深夜便の飛行機に乗るだけ。友人の歓待に感謝し乍ら最後の夜を静かに楽しんだ次第。 終

付記：ふらりと出掛けた海外旅行。私に取って、観る、食うが旅行の楽しみなので、それ等を主に記述した積り。次は何処へ出掛けようかな案を練って居る所である。



(セントーサ島)



## 光市医師会・光市協議会

日 時：2月26日(木) 午後6時30分～ 場 所：ホテル松原屋

## 協議事項

- (1)平成9年度医師出務報酬等について
- (2)成人病検診等の実施状況について
- (3)救急活動状況について
- (4)その他

## 出席者

光 市	
市 長	末岡泰義
教 育 長	堀川昌典
市民部長	山本昌浩
福祉保健部長	重岡靖彦
消 防 長	山根恒憲
保健センター所長	松岡 博
	(敬称略)

## 光市医師会

会 長	近藤龍一	副会長	前田昇一
理 事	赤崎信正	理 事	藤原邦彦
理 事	梅田 馨	理 事	河村康明
理 事	松村壽太郎	理 事	光武達明
理 事	吉村明人		

## 末岡光市長挨拶

今年もこうして医師会の先生方と私共がこうして協議会が開催されます事は、本当に嬉しく思いますし、また大変お忙しい中をご出席賜わり誠に有難うございました。先生方におかれましては、常日頃から市民の健康のために、医療等のためにご尽力をたまわりまして、この機会に心より御礼申



し上げます。協議事項は今年もそこに書いてございますように、4事項についてご協議をさせて頂きたいと、このように思っておりますのでございます。

まあしかしながら、昨今いろいろ世の中は変化をしていくなかで、特に私共がかかわっておりますのは医療財政改革といいますが、行政システムそのものがこれまでのものが非常に旧くなっておりまして、いろんな問題をおこしているいわゆる疲労しているという観点から改革が進んでいるというところでございますし、もう一方ではそういう事を含めてではあります、地方分権というですね国が権力を集中しております事について、地方に分散しようという

動きがあるわけでございます。そうした動きで分権として市長なら市長に権限を与えていただければいいようなものは、なかなか国の方も与えていただけませんで、なかでも一番早かったのは地域保健法の改正によります母子保健事業なんか、市の部の権限委譲という事で影響も出ている所でございまして、こういうものは母子保健身近な所でやはりやるべきだなと私も思っておりますけれど、こういう事もあらたにできてきているようなところでございまして、先生方におかれましては、またいろんな事でご支援をいただきながら、私共保健、福祉両面でなお一層のご支援を賜わらなければならぬというように考えているところでございます。いろいろとお願いする事ばかりでございまして、宜敷くお願い申し上げたいと思います。

保健施設でこれから更に大きな課題になっております、昨年もこの席でお話いたしましたけれども、総合福祉センターというようなものを作ってみよう。総合というからはやはり今の時代に市民・県民・国民が期待しますものは、やはり福祉、保健医療が一体となった施設であるというような観点から、一年間調査費をつかまして、いろいろと構想、調査、研究を致しております。まあ新年度予算等としましても、昨日記者会見を致しまして一定のものを発表しているわけでございますが、その中で総合福祉センターの事につきまして、今年は基本計画をする樹立するというような事になっておりまして、役所のやっていきますスケジュールでいけば、更に基本設計をやって、実施計画、着工とい

う事になって、平成12年ぐらいが完成の目標である、しかし私も市民から大きな要請を受けている事業でございまして、1年でも1日でも早くこれをきちんとしたものを作りたいたいという事で努力しております事を、参考までにお話しをさせていただいて簡単ではございますけれども、ご挨拶に変えたいと思います。

よろしくご審議お願い申し上げます。

### 近藤医師会長挨拶

本日は大変お忙しい中を、市長さんはじめ市役所の方々、我々とこういう機会をお持ち頂きまして誠に有難うございます。常日頃から市当局には我々医師会に物心両面で大変ご支援をいただいております。改めてお礼申し上げます。

先程お話しがございましたが、総合福祉センターに休日診療所を是非と我々は要望しておりますが、その希望をお聞き届けいただけると思うのですが、現在のところお聞きつけていただいております。是非立派な休日診療所ができる事を心よりお願いしております。

我々は医者でございまして、医療を一生懸命やる事はあたりまえの事でございまして、我々は医療に係わっております、福祉に対する関心が今迄余りにもなさ過ぎたと、福祉を知らな過ぎたと最近痛切に感じております。2~3年後には介護保健法というものが施行されるようになりますと、ますます医療と福祉というものが近付いて一緒になってくるという事でございまして、我々も一生懸命勉強しないといけな



という事で、おそまきながら取り組まないといけないと思います。

福祉に関しましては市当局の方が、あきらかに専門家でございますので我々が教えるをこわなければならない、いろいろ教えていただかなければならないと思っております。いずれに致しましても医療と福祉というものが合体してきますと、もうそれぞれが自分の仕事をしていればそれでいいのだという時代ではございませんで、お互に教

えたり教えられたり、あるいは集って話し合いをしてみたりという事は、これからは大事だろうと思っております。それで光市民の方々から、光市に住んでよかったと言っただけのような福祉なり医療なりを、是非築きあげたいものだと願いをいたしております。

これからまた、いろいろお世話になるかと思っておりますが是非とも宜敷くお願い致します。有難うございました。

## 基本健康診査及び各種ガン検診実施状況

(光市保健センター作成の資料より)

### (1) 基本健康診査

年度	区分	受診者数 <sup>(人)</sup>	要医療 <sup>(人)</sup>	要指導 <sup>(人)</sup>	異常なし <sup>(人)</sup>
平成4年度		5,837	2,154	1,905	
平成5年度		6,337	2,217	1,997	
平成6年度		6,649	2,739	2,073	1,812
平成7年度		5,157	2,564	1,958	635
平成8年度		5,366			

### (2) 各種ガン検診

年度	区分	胃ガン検診		子宮ガン検診		乳ガン検診	
		受診者 <sup>(人)</sup>	要精検 <sup>(人)</sup>	受診者 <sup>(人)</sup>	要精検 <sup>(人)</sup>	受診者 <sup>(人)</sup>	要精検 <sup>(人)</sup>
平成4年度		1,077	137	1,794	8	1,121	38
平成5年度		1,217	171	1,934	12	1,103	50
平成6年度		1,344	163	1,718	9	973	30
平成7年度		1,538	39	2,105	16	1,854	63
平成8年度		1,450	116	1,670	7	1,930	63

年度	区分	肺ガン検診		大腸ガン検診	
		受診者 <sup>(人)</sup>	要精検 <sup>(人)</sup>	受診者 <sup>(人)</sup>	要精検 <sup>(人)</sup>
平成4年度		1,711	18	588	39
平成5年度		2,485	41	840	41
平成6年度		2,703	45	920	79
平成7年度		2,205	39	1,672	150
平成8年度		2,556	41	1,661	159

## 予 防 接 種 実 施 状 況

年度	三種混合 (ジフテリア、百日咳、破傷風)			二種混合 (ジフテリア、破傷風)		
	対象者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)	対象者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)
平成4年度	2,702	1,601	59.3	607	624	92.2
平成5年度	2,322	1,521	65.5	573	503	87.8
平成6年度	2,408	1,489	61.8	597	547	91.6
平成7年度	2,875	1,780	61.9	538	597	92.3
平成8年度	2,715	1,824	67.2	568	521	91.7

年度	急性灰白髄炎			麻 し ん		
	対象者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)	対象者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)
平成4年度	1,266	757	59.6	1,281	283	22.1
平成5年度	1,266	795	62.8	916	360	39.3
平成6年度	1,380	841	60.9	973	306	31.4
平成7年度	1,730	835	48.2	1,135	393	34.6
平成8年度	1,760	898	51.0	1,385	394	28.4

年度	風 し ん			日 本 脳 炎		
	対象者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)	対象者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)
平成4年度	746	632	84.7	1,306	870	66.6
平成5年度	327	294	89.9	1,253	872	69.6
平成6年度	309	290	93.8	1,069	878	82.1
平成7年度	921	646	70.1	3,601	1,822	50.5
平成8年度	2,079	877	32.4	9,994	4,491	44.9

## ツベルクリン、B. C. G

年度	区分	対象者数(人)	接種者数(人)	陽性者数(人)	BCG接種者数	接種率(%)
平成5年度	学 校	1,185	1,147	507	269	96.1
	乳幼児	474	492	10	380	91.6
平成6年度	学 校	1,332	1,271	541	328	94.8
	乳幼児	533	522	9	426	87.8
平成7年度	学 校	1,347	1,323	661	658	98.2
	乳幼児	687	316	1	295	45.9
平成8年度	学 校	1,526	1,507	896	611	98.8
	乳幼児	691	401	7	394	58.0

注 子宮ガン・乳ガン検診受診者は予測による推定。

三種混合・急性灰白髄炎・麻しん・風しん・日本脳炎接種者数は予測による推定。

(松岡保健センター所長一健康診査・  
各種ガン検診・予防接種について説明)

基本健康診査については昨年度は個別が大変減少し4,358名、今年度は全体が5,366名のうち個別が4,676名で約300名増えている。

胃癌検診は1450名で、これは全部集団、子宮癌・乳癌検診は2回目だが2月迄実施している。子宮癌検診が1,670名、乳癌検診が1,930名ぐらいを予測している。

各種検診の9年度の実施計画は、基本健



診・胃癌検診はそれぞれ今年度と同じ日程で決定を考えている。なお胃癌検診で個別検診のご検討をお願いしているが、もしこれを実施していただくとしたら、基本健診の個別である9月1日から11月15日、これに合わせて実施していただいたらと考えている。

予防接種では三種混合の対象者が2,715名に対して接種者が1,824名、三種混合が対象者が568名で接種者が521名となっている。

なお9年度の集団接種は延76会場で4月6日から11月17日まで予定している。これにかかわる先生方が延約210名ぐらい願う事になると考えている。

#### (山根消防長一救急業務実施状況 について説明)

最近5年間の年別救急出場状況では、光市においては平成8年は1,311件で、昨年より51件減少している。管内で全体では2,319件で昨年より3件増えている。搬送したのは2,317件。

前年との救急出場の比較で、平成8年は一番多いのは急病で、全体の51.7%を占めている。二番目が交通事故で418件で18%、三番目がその他の347件で14.9%、4番目が一般である。38.7人に1人が救急車で搬送されているという状況である。

平成8年市町別管内の救急出場状況は、光市では急病とその他と交通事故で96.8%を占めている。その他をのぞいても79.8%で急病と交通事故が多い。

月別救急出場状況では200件をこえている月は4月、7月、8月、10月、12月でその他の月は160件から190件出動で推移している。1ヵ月平均が193件である。

傷病者病医院搬送件数は、光市で発生した救急を光市内の病院へ搬送したのが889件で71.12%、管外の病院に搬送したのが、267件で21.36%、光市全体で1250件、管内全体では2201件搬送している。

公立病院への搬送状況であるが、光市立病院へ搬送した件数が786名で62.9%、大和病院が93名で7.4%であった。

休日の搬送状況であるが、年間71日という休日の中で、休日診療病医院に搬送したのが15件で、その他の病医院へ搬送したのが119件で、119件のうちわけはかかりつけが多くて36件であった。

高規格救急自動車が、2月7日にはあった。現在救急救命士が2名いる。

#### (医師会より発言・質問等)

- 近藤会長胃癌個別検診についてコメント  
昨日医師会月例会があって、胃癌の個別検診の件を会員で検討協議し、光医師会としては、一応受けようという事に決定した。それをどういう方法でやっていくかという事は、これから協議をしていかなければならないと思うが、こちらは松村理事が読影委員会の委員長をつとめるので、松村理事と打ち合わせてしていただきたい。
- 休日の搬送状況というところで、休日診療病医院というが15件と非常に少ないのでびっくりしている。これはどん理由であろうか。うちわけをみると、かかりつけだからというのが36件あるが、これは患者の希望でどこどこに行つて欲しいという事でこういう事になっているのか。
- 癌検診のところでは要精検査の受診率がでていないが、データは出しておられないのか。

## 各種検診の実施計画

区 分	平成 8 年 度	平成 9 年 度 (案)
基本健診	集団 医師会委託 (9月1日～11月15日)	集団 5月 10日間 医師会委託 (9月1日～11月15日)
胃がん検診	集団	集団 5月 10日間 12月 5日間
子宮がん検診	集団 10～11月 10日間 12月 4日間 医師会委託 (7月1日～9月30日) (1月16日～2月28日)	集団 10月 10日間 11月 4日間 医師会委託 (7月1日～9月30日) (1月16日～2月28日)
乳がん検診	集団 10～11月 10日間 12月 4日間 医師会委託 (7月1日～9月30日) (1月16日～2月28日)	集団 10月 10日間 11月 4日間 医師会委託 (7月1日～9月30日) (1月16日～2月28日)
肺がん検診	集団 5月 10日間 9月 11日間	集団 5月 10日間 9月 11日間
大腸がん検診	集団 5月 10日間 12月 5日間	集団 5月 10日間 12月 5日間

## 救急業務実施状況

(光地区消防組作成の資料より)

## 最近5年間の年別救急出場状況

年別	市町別 件数・人員	光 市	大和町	田布施町	熊毛町	管 外	計
平成4年	出場件数	1,093 (58.5%)	151 (8.1%)	287 (15.4%)	334 (17.9%)	3 (0.1%)	1,868 (100%)
	搬送人員	1,123	155	279	343	3	1,903
平成5年	出場件数	1,261 (59.7%)	140 (6.6%)	318 (15.0%)	390 (18.5%)	5 (0.2%)	2,114 (100%)
	搬送人員	1,258	141	312	384	4	2,099
平成6年	出場件数	1,232 (57.7%)	184 (8.6%)	317 (14.9%)	398 (18.6%)	5 (0.2%)	2,136 (100%)
	搬送人員	1,252	191	311	414		2,168
平成7年	出場件数	1,362 (58.8%)	189 (8.2%)	338 (14.6%)	424 (18.3%)	3 (0.1%)	2,316 (100%)
	搬送人員	1,341	192	335	443	2	2,313
平成8年	出場件数	1,311 (56.5%)	176 (7.6%)	376 (16.2%)	451 (19.5%)	5 (0.2%)	2,319 (100%)
	搬送人員	1,316	175	372	445	9	2,317



傷病者病(医)院搬送件数

(平成8年1月1日~12月31日)

発生場所 搬送先	光市	大和町	田布施町	熊毛町	管外	計
光市内の病院	<71.12>(40.39) 889	<7.19>(0.55) 12	<2.24>(0.36) 8	<17.22>(3.32) 73	<25.0>(0.04) 1	(44.66) 983
大和町内の病院	<7.44>(4.23) 93	<61.08>(4.63) 102	<36.52>(5.91) 130	<30.19>(5.82) 128	< >( )	(20.59) 453
田布施町内の病院	< >( )	< >( )	<2.24>(0.36) 8	< >( )	< >( )	(0.36) 8
熊毛町内の病院	< >( )	< >( )	< >( )	<4.95>(0.95) 21	< >( )	(0.95) 21
管外の病院	<21.36>(12.13) 267	<31.73>(2.41) 53	<59.00>(9.54) 210	<47.64>(9.18) 202	<75.0>(0.14) 3	(33.40) 735
その他の場所	<0.08>(0.04) 1	< >( )	< >( )	< >( )	< >( )	(0.04) 1
合計	<100>(56.79) 1,250	<100>(7.59) 167	<100>(16.17) 356	<100>(19.27) 424	<100>(0.18) 4	(100) 2,201
光市立病院	<62.9>(35.71) 786	<6.0>(0.45) 10	<1.7>(0.27) 6	<14.6>(2.82) 62	< >( )	(39.25) 864
大和病院	<7.4>(4.23) 93	<61.1>(4.63) 102	<36.5>(5.91) 130	<30.2>(5.81) 128	< >( )	(20.58) 453
計	<70.3>(39.94) 879	<67.1>(5.08) 112	<38.2>(6.18) 136	<44.8>(8.63) 190	< >( )	(59.83) 1,317

備考

- 1 出場件数 2,319 病院搬送件数 2,201 2 不搬送件数 118  
 3 ( ) は総合計に対する割合 (%) 4 < > は各市町合計に対する割合 (%)

休日の搬送状況(09:00~17:00)光市

平成8年1月1日~平成8年12月31日(休日71日)

搬送先	種別	急病	交通	その他	計
休日診療病医院		4	7	4	15
その他の病医院		62	20	37	119
計		66	27	41	134

高規格救急自動車

平成9年2月 納入

- 購入の目的  
救急業務高度化推進事業の一環として、救急救命士が行うことのできる高度な応急処置に対応した高規格救急自動車を購入
- 高規格救急自動車の仕様
  - 乗車定員 7人
  - 主要装備 大型散光式警光灯 防振ベッド エクスチェンジストレッチャー 酸素吸入装置 紫外線殺菌装置 患者室資器材収納庫および収納棚 カーナビゲーションシステム 自動車電話 ファクシミリ

応急処置資器材

- 購入の目的  
救急業務高度化推進事業の一環として、救急救命士が行うことのできる高度な応急処置に対応した高規格救急自動車に積載する資器材を購入
- 応急処置資器材の仕様  
主要資器材
  - 観察用資器材
  - 呼吸循環系管理資器材
  - 創傷等保護用資器材
  - 保温搬送用資器材・自動心肺蘇生器
  - 気道確保用資器材・ショックパンツ
  - 半自動式徐細動器・輸液セット
  - 血中酸素飽和度測定器(患者監視装置)
  - 心電図伝送装置及び受信装置

## 2 月 度 月 例 会

日時：2月25日(火) 午後7時～

場所：光商工会館

出席者：21名

### 〔学術講演会〕

演題：「興味ある消化器疾患の症例について」(特に腹部エコーを中心に)

講師：徳山中央病院

消化器部長 古谷晴茂先生



### 〔月例会〕

議題：1) 胃癌個別検診について  
2) その他

胃癌個別検診について、松村理事が「胃がん検診直接撮影方式」の草案を作成され説明された。ついで近藤会長が、光市医師会で胃がん検診をおこなう必要性の主旨を説明され、検診受諾の賛否の意見を聞かれた。

#### 近藤会長挨拶—胃癌個別検診について

先月お話し致しました胃癌検診について、松村理事に草案を作っていました。このような方法でやってゆきたいと思っております。河村先生の話しを聞きますと、初めは車検診の補完という形ではじまっていきましても、大体逆になりまして個別検診の方が主になっていくようです。

この間もお話しがございましたように、山口県の市部で光市だけが残っているとい

う事で、是非やって欲しいといのが各方面からの要望がございます。これが第1点です。それから、こういうダブルチェック、読影委員会などをやる事によりまして、実施機関の技術的あるいは読影力の向上をはかれる点というのが第2の利点です。第3の利点といたしまして、1万なにがしかのお金を国が出しますので、国が出すものを黙って見過ごす手はないのではないかと、おいにいただくという経済的メリットがあります。それから第4点は、この間糸氏日医副会長が言っておられましたけれども、今後検診が社会保険の中に取り入れられていくであろうということです。社会保険から削られるものが多いのですけれども、唯一取り入れられていくのが検診であろうという事でございますので、これから検診が重要な柱になる事は間違いない、その意味で今からやっていく方がよいのではないかと思います。

一応ここで皆様方のご意見を伺いまして決定いたしたいと存じますが、実施の時期はまだ先の事でございます。この間に具体的に検診を受けていただく先生の届けをしていただきまして、またお集りをいただいて、詳しい打ち合わせをする事もあろうかと思えますし、また市の方とも打ち合わせをしなければいかんと思っております。一応現在のところ市の方は、基本健診と同時にやってもらいたい、9月1日から11月15日の間にやってもらいたいような意向を言っております。したがって、まだ時間がありますのでその間に十分打ち合わせができると思えます。

この件に関して何かご意見、反対のご意



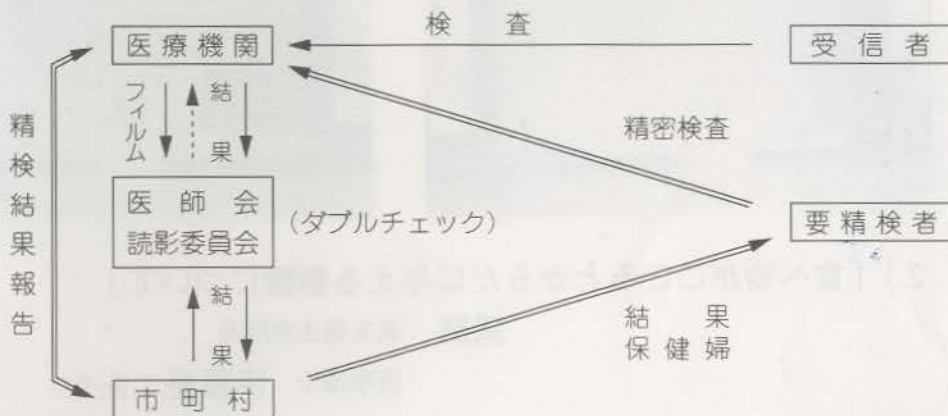
見などございましたらお願い致します。  
 よろしゅうございましょうか。特に反対  
 のご意見が無いようでしたら、皆さんに承  
 認していただいたと致したいと存じます。  
 一応ご意見が無いようでございますので、

胃癌個別健診を光市においても実施する  
 という事に決定させていただきたいと思いま  
 す。またこまかい事はのちほどご連絡申し  
 上げます。どうも有難うございました。

### 胃がん検診直接撮影方式（医療機関委託方式）（案）

目的：間接撮影方式（車検診）を補完するため。

受診者の流れ、システム：



- 1) 検診医療機関：届出制とする。
- 2) 撮影方法：日本消化器集団検診学会の間接撮影方式に準ずる。  
 さらに、スポット撮影（圧迫を含む）を加える。
- 3) 読影：ダブルチェックを原則とする。（第1読影者－検診実施機関  
 第2読影者－読影委員会）  
 「読影委員会」を活用する。  
 読影委員会のメンバー  
 読影料
- 4) 結果・通知：最終判定として、医師会読影委員会の名のもとに光市に通知する。  
 「検診結果票」4枚綴り－①検診機関控え用  
 ②検診機関への報告用  
 ③保存用（医師会等）  
 ④受信者通知用
- 5) 読影会・検討会等により、技術向上をはかり、精度管理に務める。

## 医学講演会

平成8年度・光市学校保健研修会 光市学校医研修会

日時：2月13日(木) 午後1時30分～4時40分 場所：光市民ホール

演題：

## 1) 「自分自身の気持ちがわかる子」

講師 原田病院青少年相談部長

心理カウンセラー 河内山 廻雄先生



## 2) 「食物がこころとからだに与える影響について」

講師 麓友養生舎院長

医学博士 伊藤慶二先生

## ★血糖の調節

高血糖・低血糖

ブドウ糖・果糖が代謝するのにかかる時間

エネルギー転換できない

解糖作用低下

エネルギー爆発・脳の過興奮状態

ハイパーアクティビティ

Hyperactivity

ミネラル・ビタミンの大量消耗

(Ca・Mg・K・Zn等)

(VB1・VB2・ニコチンサンアミド等)

糖尿病 頭痛 脳貧血

いろいろ せかせか 思考の短絡化

ノイローゼ 神経質 不眠 攻撃性

校内・家庭内暴力 いじめ

じっとしてられない 学習障害児

知能障害

精神分裂 躁鬱病 自律神経失調症

頻脈 心気亢進

低血圧 失神 めまい 循環不全 疲労

筋肉けいれん けいれん 神経炎

神経障害 神経痛 腰痛 頸痛 肩こり

## ★糖代謝の異常

大量の糖を摂取すると80%はエネルギーにならないで転化する

生命力・自然治癒力の低下

耐久力の低下 免疫力の低下



**\*乳糖**

腎で排出除去するのにミネラルの陽イオンを消耗十数分のエネルギーを消耗

血液中のCa上昇

ミネラルや微量元素の減少・正常な代謝でもCa等のミネラル喪失

果糖も同様

Caの欠乏 歯と骨

高ヒスタミンレベル

極陰性としての働き

冷える・緩む・拡散性・遠心性

**\*コレステロール 中性脂肪**

血流の粘ちょう性上昇

血管の変形

血管の閉塞性 虚血性病変

尿酸

**\*粘液酸 粘液の生産と渋滞**

退行性疾患

**★易感染性**

すべての感染症

感染と発病の違い

**★生命力を消す 弱める**

ケミカルなものとしての性質

中毒 耽溺

歯科疾患全般 カリエス 骨粗鬆症

関節炎 変形性脊椎症 側わん症

整形外科的疾患

腎臓結石を初めとする各種結石症

湿疹等皮膚疾患 アレルギー性疾患（アトピー性皮膚炎・気管支喘息・アレルギー性

鼻炎・アレルギー性結膜炎等）色素沈着

汗かき 冷え症 骨盤鬱血症 卵巣機能障害

不妊症 流早産 未熟児 奇形

異常分娩

胃下垂 ヘルニア 胸やけ 鼓腸 消化不良

慢性胃炎 便秘 胃腸ポリープ 消化性潰瘍

口内潰瘍 痔 癌等悪性腫瘍

近視 視力低下 ぐにゃぐにゃ

虚血性心疾患 脳梗塞 低血圧

高脂血症 成人病全部 肥満

動脈硬化 高血圧 虚心性心疾患

脳梗塞 物忘れ 老人性痴呆

動脈瘤 静脈瘤

通風 高酸血症

鼻汁 目やに 痰

呼吸器疾患 気管支喘息 間質性肺炎

中耳炎 副鼻腔炎等の耳鼻科疾患

白血病など血液疾患 聴覚障害

癌など悪性腫瘍

細菌 ウイルス かび リケッチャ

クラミジア 風邪 インフルエンザ

急性咽頭炎 感染性胃腸炎 O-157

エイズ 結核 カンジダ膣炎

膀胱炎 腎盂炎などの尿路感染症

治癒機転・自然治癒力を弱める

## 平成9年度 休日診療当直表

月	4 月					5 月					6 月					7 月					8 月					9 月					10 月						
日	6	13	20	27	29	3	4	5	11	18	25	1	8	15	22	29	6	13	20	21	27	3	10	17	24	31	7	14	15	21	23	28	5	10	12	19	26
内科系	田村	市川	丸岩	佃	安永	河村	高橋建	大月	竹中昭	吉村	室積	守友	松村	田村	大月	丸岩	高橋建	市川	吉村	守友	佃	竹中昭	安永	室積	松村	河村	大月	田村	丸岩	高橋建	市川	守友	吉村	佃	竹中昭	河村	室積
外科系	梅田	兼清	高橋秀	前田	近藤	富恵	道上	河内山	竹中美	藤原	光武	藤村	清水	梅田	近藤	高橋秀	前田	兼清	藤原	竹中美	河内山	富恵	藤村	光武	道上	清水	近藤	高橋秀	梅田	前田	兼清	富恵	竹中美	河内山	道上	藤原	光武

月	11 月						12 月						1 月					2 月				3 月												
日	2	3	9	16	23	24	30	7	14	21	23	28	29	30	31	1	2	3	4	11	15	18	25	1	8	11	15	22	1	8	15	21	22	29
内科系	安永	松村	田村	大月	丸岩	市川	高橋建	守友	吉村	田村	竹中昭	松村	室積	河村	安永	佃	吉村	竹中昭	大月	市川	守友	高橋建	丸岩	佃	安永	室積	松村	河村	市川	大月	丸岩	高橋建	田村	守友
外科系	藤村	清水	竹中美	近藤	梅田	前田	河内山	富恵	高橋秀	兼清	藤原	光武	竹中美	清水	道上	藤村	兼清	高橋秀	前田	梅田	富恵	近藤	藤原	河内山	藤村	光武	道上	清水	兼清	前田	高橋秀	近藤	梅田	富恵



## 2月定例理事会

日時：2月19日(水) 午後7時30分～

場所：医師会事務局

出席者：前田、梅田、光武、河村、  
赤崎、松村、吉村

議題：

- 1) 周南地区集团的個別指導の報告  
(光武理事)
- 2) 郡市広報担当理事協議会の報告  
(吉村理事)
- 3) 徳山環境保健所事業連絡協議会の報告  
(吉村理事)
- 4) 医師出務報酬内示の検討  
(前田副会長)
- 5) その他

## 勉 強 会

### 心電図研究会 (第104回)

光市・下松医師会合同

日時：2月14日(金) 午後7時30分～

場所：光商工会館

講師：河野隆任先生

出席者：8名

症例：

- 1) 89才、♂、(主訴)呼吸困難(診断)喘息の重積発作—急性右室負荷
- 2) 42才、♂、(診断)Brugada症候群疑
- 3) 58才、♂、(主訴)前胸部の圧迫感(診断)異型狭心症
- 4) 61才、♂、(主訴)右背部痛(診断)左前下行枝心筋梗塞

## レントゲン勉強会

日時：2月4日(火) 午後7時～

場所：光商工会館

講師：徳山中央病院 岡本安定先生

出席者：7名

## 平成8年度 会員による健康教育講座

- 5月12日—保健センター  
演題「最近のアトピー考」  
光市立病院 藤山純一先生
- 6月19日—牛島公民館  
演題「ねたきりにならないために」  
光市立病院 藤山純一先生
- 9月11日—三島公民館  
演題「上手におしっこを出そう」  
光市立病院 山本憲男先生
- 1月29日—保健センター  
演題「ねたきりにならないために」  
光市立病院 米沢文雄先生

## 会 員 動 向

(入会)

椎木俊明

光市立病院内科 2月3日



## 2 月度月間行事・関連行事

日	行 事	場 所
4	レ ン ト ゲ ン 勉 強 会	医 師 会 事 務 局
6	濃川先生光市立病院院長就任祝賀会(有志一同)	松 屋 ホ テ ル
12	2 月 度 定 例 理 事 会	医 師 会 事 務 局
13	医学講演会(学校保健研修会・光市学校医研修会)	光 市 民 ホ ー ル
16	心 電 図 研 究 会	光 商 工 会 館
25	2 月 度 月 例 会 ・ 学 術 講 演 会	光 商 工 会 館
26	光 市 医 師 会 ・ 光 市 協 議 会	ホ テ ル 松 原 屋

平成9年度休日診療当直表作成に  
あたり担当の梅田理事のコメント

次年度、3人の先生が、御希望により当番からはずれました。

その結果、内科系が10名、外科系が16名となりましたので、松村先生、竹中先生、金先生に、ご了解いただいて、しばらく内科系に入っていただくことにいたしました。

又、東西を分けるのを、島田川を境界とさせていただきます、例外として光武先生のみ島田川西扱いとさせていただきます。

なお、不評の当番看板の件につきましては次の当番医へ運ばなくてよい方法を考えてさせていただきます。

## ⅢⅢ あとがき ⅢⅢ

3月のなかば頃より、晴の日が長続きせず、晴の日と雨の日が交互に通り返り過ぎてゆきます。文字どおり菜種梅雨なのでしょう。

各地から桜の便りが届く季節になってま

いりました。島田川河畔の桜も少しづつ色づきを増しております。選抜高校野球も甲子園で熱戦をくりひろげ盛り上がっております。だんだんいい時候に向っております。

濃川先生に院長就任されての施政方針を綴られた原稿をいただきました。今後のご活躍を期待しております。

富恵先生にシンガポールのおいしい食べ物の紹介と、素敵な写真を披露していただきました。両先生には原稿有難うございました。

4月にはいり、高校野球が終り、プロ野球がはじまる頃には、光市の桜も満開になっている事でしょう。(吉村)

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	近藤龍一
編集者	広報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社